

タキサン系抗癌剤

タキサン系抗癌剤とアンスラサイクリン系抗癌剤の比較試験として、TC(DOC+CPA)療法とAC(ADM+CPA)療法を比較検討したものが 있습니다。この試験は、早期乳がんを対象としており、リンパ節転移は陰性・陽性がほぼ同数含まれております。その結果、TC 療法は再発に関してAC 療法を上回る治療効果を示しています(5 年無再発生存率 86% vs 80%)。

したがって、早期乳がん術後化学療法を行なう場合には、TC 療法も選択枝の 1 つとなります。特に、アンスラサイクリン系による治療効果があまり望めない、またはアンスラサイクリン系を使用するには心機能が良好でないなどと考えられる群に対しては TC 療法が推奨されます。しかし、このような群を抽出する方法として確立されたものはまだ無く、適応については慎重に検討すべきです。